

2026年4月21日

各位

株式会社ディ・アイ・システム

**ディ・アイ・システムグループ、次世代型 AI 教育プラットフォーム「ピジエトレ」を正式リリース**

～AIによる徹底伴走で「育成のパーソナライズ化」を実現。現場の教育負担を解消し、配属初日からの自走を可能に～

株式会社ディ・アイ・システム（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：富田健太郎、以下「当社」）は、当社連結子会社のアスリーブレインズ株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：富田健太郎）が開発・提供を行う次世代型 AI 教育プラットフォーム「ピジエトレ」を正式リリースしましたので、お知らせいたします。

# ピジエトレ

## 講師と AI が、よりそう研修。

「ピジエトレ」は、プロ講師による高度な実践研修に AI の常時サポートを融合することで、最短ルートでの即戦力化を実現します。実務を想定した AI ロールプレイや日報分析を通じ、一人ひとりの習熟度やメンタル状況をデータに基づいて可視化。従来の画一的な教育から脱却し「育成のパーソナライズ化」を加速させることで、個々の潜在能力を最大限に引き出し、企業の持続的成長と IT 人材不足の解消に貢献いたします。

### ■「ピジエトレ」開発・提供の背景

近年、深刻な IT 人材不足により未経験者の採用が加速する一方で、専門知識の習得や現場適応にかかる膨大な教育工数の確保が大きな課題となっています。特に生成 AI の普及は、IT 人材に求められるスキル水準を大きく底上げしました。単なる知識習得に留まらず、AI を使いこなし自律的に動ける人材へと短期間で引き上げる「育成の DX」は、いまや企業の競争力を左右する極めて重要な経営戦略といえます。

こうした状況のなか、当社グループは IT 人材育成において、画一的な研修から個々の進捗に応じた「育成のパーソナライズ化」への転換が不可欠であると結論付けました。長年培ってきた IT 研修の実績と豊富な教育ノウハウに、最新の AI 技術を統合した「ピジエトレ」の提供を通じて、学習の効率化と現場の教育負担軽減を同時に実現。一人ひとりに最適化された学びの提供により、企業の持続的な成長を支援してまいります。

## ■「ピジトレ」に込めた想い

サービス名の「ピジトレ」は、私たちが提唱する「Pre-Job Training (PJT)」というコンセプトに基づいています。

現在の新人教育においては、座学中心の研修を終えても、実務の現場に適応できず、理想と現実のギャップに悩むケースが少なくありません。私たちは、この「研修 (OFF-JT)」と「実務 (OJT)」の間に存在する深い溝を埋める「架け橋」として、現場配属前の徹底した「実務演習 (PJT)」こそが、今の時代に最も必要であると考えました。

AI による伴走でトレーニングを高度化し、現場で求められる実践力と自信を短期間で構築する。この「PJT」というステップを新たなスタンダードとして定着させることで、すべての新人が迷うことなく実務に踏み出し、自らのポテンシャルを最大限に発揮できる世界の実現を目指します。

## ■「ピジトレ」の特長

当社グループが長年培ってきた実践的研修に AI を統合し、新人の学習体験を根底から変革します。これまで時間の制約や講師リソースの限界により困難であった徹底的な演習を、AI の活用によって可能にしました。個々の理解度に応じた知識習得や質疑応答を AI が担うことで、インプットの効率を最大化し、学習時間を大幅に短縮。そこで捻出した時間を「実務演習 (PJT)」へとシフトさせます。現場で起こりうるトラブルや課題の疑似体験を通じて、技術スキルのみならず現場対応力までを兼ね備えた、真の即戦力人材を短期間で育成します。

### 【受講者用機能】

#### ①「専属 AI コーチ」による停滞ゼロの学習サポート

AI が研修内容に関する質疑応答から復習、理解度確認テストまでを幅広くサポートします。先輩や講師に聞きづらい初歩的な疑問にも AI が即座に回答し、テキストの該当ページまでナビゲート。受講者が「調べ方がわからない」と学習を止める時間を最小化し、場所や時間を問わず、自分のペースで着実に IT スキルを習得できる環境を実現します。



※受講者画面イメージ

## ② 実践力を磨く「AI ロールプレイ」と「思考を深める日報分析」

実際の業務シーンを想定したアバター相手の対話演習を通じて、知識を「現場で話せる言葉」へと変換するアウトプット訓練を実現します。また、提出された日報に対し、AI が「思考の背景」を問う深掘り質問を実施。客観的なフィードバックを交えた対話によって思考の解像度を高めることで、現場対応力と自走力を兼ね備えた真の即戦力化を強力に支援します。



※受講者画面イメージ

## 【管理者用（企業向け）機能】

### ③ リアルタイムな状況把握で、フォローの遅れを防ぐ管理者機能

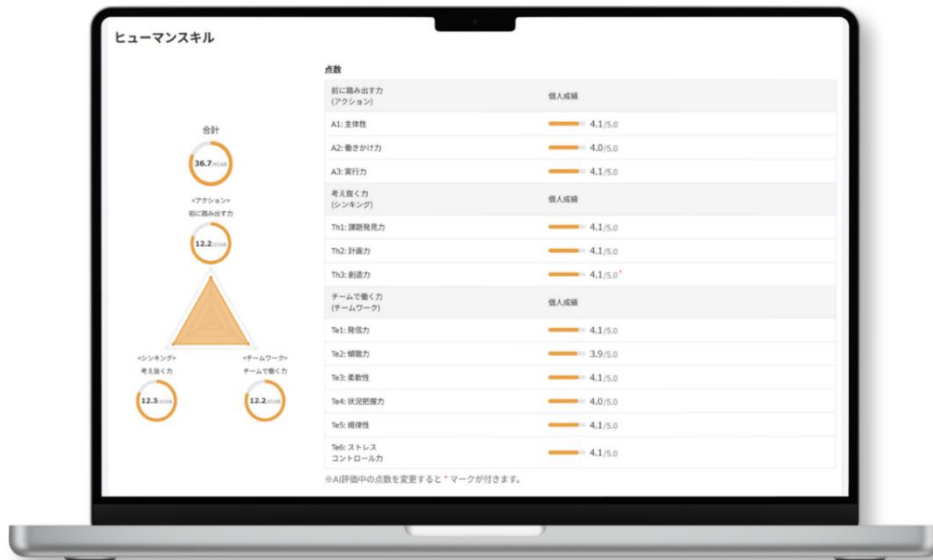
週次報告を待つことなく、日々の理解度テストや日報を通じて、受講者の「つまずき」や「悩み」を早期に把握できます。特に日報からは AI がネガティブな兆候を自動抽出するため、管理者は一人ひとりの課題のサインをいち早く察知することが可能です。さらに、出欠状況や入退室記録もシステム上で即座に確認でき、研修会社への都度の連絡も不要。受講者のコンディション変化を逃さず、最適なタイミングでのフォローアップを実現します。



※管理者画面イメージ

#### ④ 独自の AI 分析で「エンジニアの資質」を可視化、配属後の活躍を支援

AI ログとプロ講師の評価を掛け合わせ、エンジニアの資質（OS）をレーダーチャートで可視化します。「自走力」や「ストレス耐性」など 12 項目のヒュームスキルに加え、日報やロールプレイの分析から「思考の癖」や「現場での実践力」を証明。さらに、配属先の教育担当者へ向けた「処方箋（育成アドバイス）」を出力することで、新人を最速で戦力化し、ミスマッチや離職を防ぐ確実なバトンパスを実現します。



※管理者画面イメージ

### ■ 今後の展開

「ピジエトレ」は、新入社員研修に留まらず、全社的なリスキリングや高度 IT 人材の育成を支援する包括的な教育プラットフォームへと進化を続けてまいります。今後は AI 技術の精度をさらに高め、個々のキャリアステップに最適化されたカリキュラムの拡充を予定しております。将来的には、蓄積された学習データの高度な分析を通じて次世代のタレントマネジメント機能を強化し、組織全体の持続的な成長を多角的に支援するソリューションを目指します。

当社グループは「ピジエトレ」を通じて、一人ひとりの潜在能力を最大限に引き出し、IT 人材不足という社会課題の解決に伴走していくとともに、確かな技術力と自律的な学習姿勢を兼ね備えた人材の育成を通じて、お客様の DX 推進とさらなる発展に貢献してまいります。

### ■ 「ピジエトレ」に関するお問い合わせ・資料請求

「ピジエトレ」の詳細や資料請求については、以下のサービス紹介ページよりお気軽にお問い合わせください。教育課題に合わせた最適な活用方法をご提案いたします。

<https://a3-brains.co.jp/lp/pjt/freshman/v1/>

### ■ アスリーブレインズ株式会社について

- ・会社名 : アスリーブレインズ株式会社
- ・本社所在地 : 〒164-0001 東京都中野区中野 4-10-1 中野セントラルパークイースト 2F
- ・代表者 : 代表取締役社長 富田健太郎 / 代表取締役副社長 島本佳幸

- ・設立 : 2006年10月3日
- ・事業内容 : 教育事業 (IT 研修・ビジネス研修)
- ・URL : <https://a3-brains.co.jp/>

2006年の設立以来、IT 研修のプロ集団として現場で即戦力となるエンジニア育成を牽引。2013年よりディ・アイ・システムグループに参画し、進化し続ける IT トレンドをいち早く捉えた、実践的な研修プログラムを幅広く展開しています。近年は生成 AI 等の最新技術活用にも注力。確かな実績と革新的なテクノロジーの融合により、次世代 IT 人材の創出に貢献してまいります。

#### ■株式会社ディ・アイ・システムについて

- ・会社名 : 株式会社ディ・アイ・システム (証券コード: 4421)
- ・本社所在地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1 明治安田生命ビル 15F
- ・代表者 : 代表取締役社長 富田健太郎 / 代表取締役副社長 関亦在明
- ・設立 : 1997年11月5日
- ・事業内容 : ソフトウェア設計 / 開発 / 運用業務、IT インフラ設計 / 構築 / 運用業務  
ユーザー支援サービス業務、教育サービス (IT 研修・IT 資格取得)  
セキュリティ製品開発・販売、セキュリティソリューション導入支援
- ・URL : <https://www.di-system.co.jp/>

当社は、「無限の夢を創造する、無限の夢を実現する組織」を標榜し、1997年に4名の社員でソフトウェアの開発事業をスタートしました。その後、時代のニーズに合わせて、システム開発からネットワークの設計・構築、そして運用・保守とワンストップで対応するシステムインテグレーション事業を展開してまいりました。2026年4月現在では、連結従業員数が766名となり、新入社員向けの IT 基礎研修や中堅技術者向けの専門性の高い研修の提供、セキュリティや生成 AI などトレンドに応じた研修を行う教育サービスにも力を入れております。今後も、情報環境の変化に対応しながら、顧客のニーズにしっかりと応えてまいります。

#### ■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社ディ・アイ・システム 経営企画本部 経営企画室

- ・電話 : 03-6826-7772
- ・メール : [ir@di-system.co.jp](mailto:ir@di-system.co.jp)